



出会いを繋ぐ『橘丸』

第192期 事業報告書

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで



証券コード：9173

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第192期（平成28年1月1日から平成28年12月31日まで）の当社グループの事業概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、所得や雇用情勢が改善し、緩やかな回復基調で推移しましたが、夏場の台風や大雨など、天候不順による個人消費の伸び悩みがあり、また、原油価格の底打ちからの上昇や、海外経済の不確実性による為替相場の急激な変動など、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、大島の「樺まつり」において13年ぶりに稲取航路を復活させるとともに、臨時航路では新たなルートを運航したほか、東京諸島ならではの多様な企画商品を造成するなど、観光需要の掘り起こしに取り組みました。また、貨物輸送についても集荷に遺漏がないよう営業活動を強化しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、旅客数、貨物取扱量とも順調に推移しましたが、燃料油価格変動調整金収入の減少により、売上高は111億7千4百万円（前期112億6千6百万円）、一方、費用面では船舶燃料費の減少があり、営業利益は4億1千4百万円（前期2億9千4百万円）、経常利益は4億8千万円（前期3億2千万円）、これに特別損益と税金費用などを計上した後の親会社株主に帰属する当期純利益は3億5千3百万円（前期2億4千7百万円）となりました。

また、個別業績につきましては、売上高は90億1千万円（前期91億3千8百万円）、営業利益は2億5千9百万円（前期1億6千7百万円）、経常利益は3億3千4百万円（前期2億8千5百万円）、特別損益と税金費用を計上した後の当期純利益は2億5千7百万円（前期2億1千8百万円）となりました。

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識しており、財務体質の向上を図りながら、内部留保の充実にも留意しつつ、安定配当の維持に努めることを利益配分の基本方針としております。

平成28年12月期の当社の期末配当につきましては、経営環境に不確定要素が多いとして、配当予想を未定としておりましたが、今後の事業環境や企業基盤の強化のための内部留保等を総合的に勘案し、1株当たり2円の配当を実施する方針といたしました。

今後のわが国の経済は、政府の経済対策の影響や、円安による輸出関連企業の業績改善など、景気は緩やかに回復が続くと見られておりますが、原油価格の動向や、為替相場の変動など、当社グループにとりましては予断を許さない環境が続くものと予想されます。

このような状況の下、当社グループは、基本理念である「安全運航」の徹底と「良質のサービスの提供」のもとに、次期については、引き続き東京諸島の島や海の魅力の発信に注力し、観光需要の掘り起こしと、訪日外国人利用客の獲得に向け努めてま

いります。また、安全確保は最大のサービスであるとの基本意識に立ち、関係法令を遵守し、安全最優先に全力をあげて取り組みます。

主力事業分野である海運関連事業のうち、旅客部門は東京の島ならではの企画商品を造成し、より細かなサービスと手軽さを加えて、ニーズの発掘に努めてまいります。また引き続き「樺まつり」期間中に稲取航路を運航するとともに、臨時航路では、これまで開拓した拠点から東京諸島の多様なルートに展開し、さらなる旅客の獲得を目指します。また、訪日外国人利用客の集客活動を強化し乗船客の増加と増収を図ります。一方、貨物部門では、輸送品目の拡大による新規輸送の獲得を目指すほか、引き続き各島の公共工事等の動向を注視し、集荷に遺漏がないよう営業を強化するとともに、貨物輸送の品質管理向上や貨物船の効率的な配船を実施してまいります。

商事料飲事業は、新たな収益の柱となる事業拡大に努めるとともに、船舶レストラン、竹芝客船ターミナル内の売店や「鱈甲鮪（べっこうずし）」の利用客の増加に努めます。

レストラン事業では、上半期の売上拡大に努めるとともに、ホームページをはじめとする情報発信力の強化による個人客の獲得、船内サービスの向上に継続して取り組み、利用客の増加と増収を目指してまいります。

ホテル事業については、大島の豊富な海の幸の料理・高品質の源泉掛け流し温泉・露天風呂からの三原山の眺望などに加え、星空展望施設を整備するなど、「島の魅力」を前面に出し、営業活動を強化するとともに、企画商品の充実やサービスの向上により、利用客の増加と増収を目指してまいります。

旅客自動車運送事業では、貸切バス安全性評価制度三ツ星認定のもと、安全運行に努めるとともに、定期観光バス、星空観望バスなど、企画商品の充実により、利用客の増加と増収を目指してまいります。

以上のとおり、各部門に亘って業績向上を図るため、一層の努力をいたす所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の経営に対し、従来と変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山崎 潤一

連結決算ハイライト 第192期（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

連結売上高

111億74百万円
(対前期比0.8%減)

連結営業利益

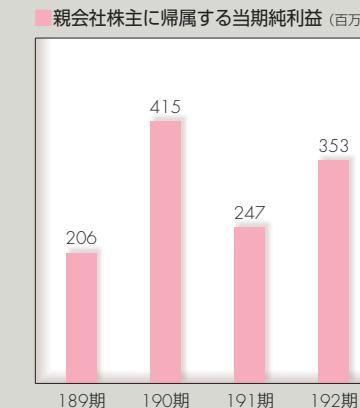
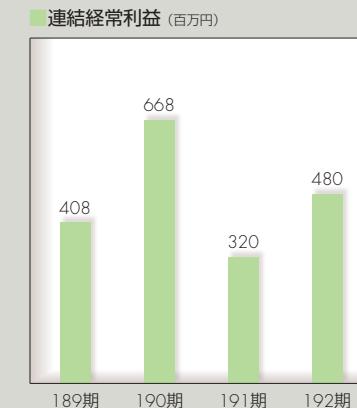
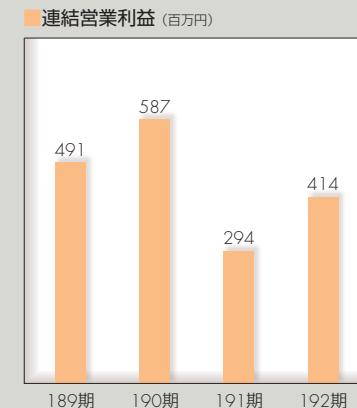
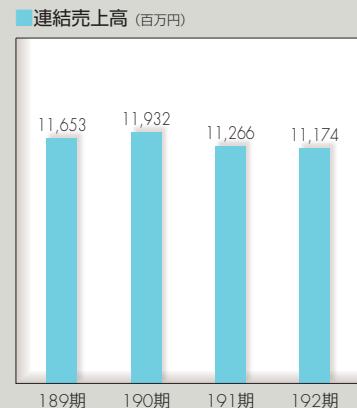
4億14百万円
(対前期比40.8%増)

連結経常利益

4億80百万円
(対前期比50.2%増)

親会社株主に帰属する当期純利益

3億53百万円
(対前期比43.0%増)



海運関連事業

売上高
8,183百万円
(対前期比 2.5%減)

営業利益
645百万円
(対前期比 7.5%増)

主力の海運関連事業の旅客部門は、大島の最大イベントである「樺まつり」において、大島町と連携して東京都の復興支援事業のPRの強化を図るとともに、13年ぶりに稲取航路を復活させ営業活動を強化しました。また、臨時航路では木更津、大井川からのルートを新たに加え、千葉・江の島・駿河湾各港から東京諸島への集客に努めました。さらに東京諸島ならではの多様な企画商品を作成し、島や海の魅力を発信し続けるとともに、夏場の最多客期には旅行会社との連携により販売活動を強化しました。この結果、夏場の天候不順による影響があったものの、全航路の旅客数は85万人（前期82万1千人）となりました。一方、貨物部門は、一部の島において公共工事関連の輸送が増加したことにより、貨物取扱量は全島で31万6千トン（前期30万トン）となりました。

この結果、旅客・貨物の営業活動は順調に推移しましたが、燃料油価格の下落により燃料油価格変動調整金の収入減があり、当事業の売上高は81億8千3百万円（前期83億9千2百万円）、一方、費用面では船舶燃料費の減少があり、営業利益は6億4千5百万円（前期6億円）となりました。



商事料飲事業

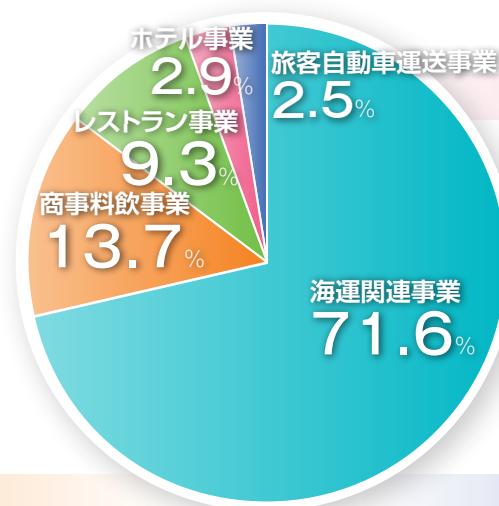
売上高
1,564百万円
(対前期比 4.3%増)

営業利益
152百万円
(対前期比 10.0%増)

当事業の中心となる商事部門は、一部の島において公共工事関連資材などの販売が好調に推移しました。この結果、当事業の売上高は15億6千4百万円（前期14億9千9百万円）、営業利益は1億5千2百万円（前期1億3千8百万円）となりました。



売上高 構成比



レストラン事業

売上高
1,063百万円
(対前期比 1.6%減)

営業利益
42百万円
(対前期比 39.3%減)

東京湾周遊のレストランシップ事業は、ホームページをはじめとする情報発信力の充実や、イベント船の企画、産地限定の食材を使用したメニュー作りに取り組みましたが、個人客が伸び悩み、全クルーズでの利用客数は11万8千人（前期12万人）となりました。この結果、当事業の売上高は10億6千3百万円（前期10億8千万円）、また、費用面において船舶の維持整備費用などの増加があり、営業利益は4千2百万円（前期6千9百万円）となりました。



ホテル事業

売上高
326百万円
(対前期比 14.0%増)

営業利益
16百万円
(対前期比 109.6%増)

大島温泉ホテル事業は、大島の豊富な海の幸を使用したプランや三原山へのハイキングプランなど、企画商品の集客に加え、東京都の復興支援事業の「宿泊助成金」の効果もあり、利用客は好調に推移しました。この結果、当事業の売上高は3億2千6百万円（前期2億8千6百万円）、営業利益は1千6百万円（前期8百万円）となりました。



旅客自動車運送事業

売上高
285百万円
(対前期比 0.3%増)

営業利益
7百万円
(対前期比 468.9%増)

当事業の中心となる大島島内におけるバス部門は、大島のあじさいや星空をテーマとした企画商品など、利用客は好調に推移しました。しかしながら、整備部門において燃料販売単価の値下りがあり、当事業の売上高は2億8千5百万円（前期2億8千4百万円）となりました。一方、費用面では燃料仕入単価の減少があり、営業利益は7百万円（前期1百万円）となりました。なお、定期路線バスにおいては大島町からの継続的な支援を受けております。



■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (平成28年12月31日現在)	前期 (平成27年12月31日現在)
●資産の部			
流動資産		3,708	4,064
固定資産		9,658	9,814
有形固定資産		7,719	7,924
無形固定資産		113	133
投資その他の資産		1,824	1,756
資産合計		13,366	13,878
●負債の部			
流動負債		2,716	2,872
固定負債		5,717	6,313
負債合計		8,433	9,185
●純資産の部			
株主資本		4,654	4,345
資本金		1,100	1,100
剰余金		3,563	3,254
自己株式		△9	△8
その他の包括利益累計額		116	170
非支配株主持分		161	177
純資産合計		4,933	4,693
負債純資産合計		13,366	13,878

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで)	前期 (平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで)
売上高		11,174	11,266
売上原価		9,412	9,584
売上総利益		1,762	1,681
販売費及び一般管理費		1,347	1,387
営業利益		414	294
(営業外収益)		168	140
(営業外費用)		101	114
経常利益		480	320
(特別利益)		10	48
(特別損失)		-	24
税金等調整前当期純利益		491	343
税金費用		129	96
当期純利益		361	247
非支配株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)		8	△0
親会社株主に帰属する当期純利益		353	247

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで)	前期 (平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		910	1,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		△422	△630
財務活動によるキャッシュ・フロー		△910	△1,110
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△421	△248
現金及び現金同等物の期首残高		2,044	2,292
現金及び現金同等物の期末残高		1,622	2,044

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

12月31日現在および6月30日現在の1,000株以上ご所有の株主各位に次の通り株主乗船割引券および東海汽船企画旅行割引券・株主施設割引券を発行しております。

■権利確定日および有効期間等

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
		↑				↑		↑			↑	
		株主優待発送 (有効期限：4月1日～9月30日)				権利確定日			株主優待発送 (有効期限：10月1日～翌年3月31日)			↑
											↑	

株主乗船割引券

●発行方法

所有株式数	1,000株～1,999株	2,000株～3,999株	4,000株～5,999株	6,000株以上
発行枚数	10枚	20枚	30枚	40枚

●優待内容

- ・全航路の全等級について、お一人様乗船一区間につき乗船割引券1枚にて所定運賃の35%引(7月、8月のご乗船は25%引)とします。
- ・東京湾納涼船(平成29年7月1日～平成29年10月9日運航)について、**大人お一人様乗船割引券1枚にて1,000円でご利用いただけます。**但し、土・日曜日、祝日、休日のご利用、中高生料金、小学生料金の割引はありません。
- ・有効期間内に乗船券をご購入下さい。

東海汽船企画旅行割引券・株主施設割引券

●発行方法

- ・1,000株以上保有されている株主様に、東海汽船企画旅行割引券を一律5枚および「大島温泉ホテル」・レストランシップ「ヴァンテアン」のいずれかがご利用できる株主施設割引券を一律10枚発行。

●優待内容

◎東海汽船企画旅行

- ・東海汽船が企画・実施する旅行商品(日帰り・宿泊共)を15%引。但し、特別プランおよび延泊ならびにオプション(タクシー観光、バス観光、レンタカー、ダイビング、各種体験等)は対象外となります。
- ・東海汽船企画旅行割引券1枚にて5名様までご利用できます。
- ・割引有効期間は出発日基準といたします。

◎大島温泉ホテル

- ・基本宿泊料金の**50%引。**
- ・株主施設割引券1枚にて5名様までご利用できます。(連泊可)
- ・割引有効期間は宿泊日基準といたします。
- ・入湯税を大人1名様につき、別途150円いただきます。
- ・株主施設割引券は、お飲み物代、売店等にはご利用いただけません。

◎レストランシップ「ヴァンテアン」

- ・各クルーズセット料金の**28%引。**
- ・株主施設割引券1枚にて5名様までご利用できます。
- ・割引有効期間は乗船日基準といたします。
- ・クルーズセット料金以外の、お飲み物・ロゴショップ・イベントクルーズ等の割引はできません。

大島温泉ホテル

50%割引!!

■会社概要 (平成28年12月31日現在)

商号	東海汽船株式会社 (証券コード 9173)
本社	東京都港区海岸1丁目16番1号
創立	明治22年11月15日
資本金	11億円
従業員数	338名

■株式の状況 (平成28年12月31日現在)

発行可能株式総数	8,800万株
発行済株式の総数	2,200万株
株主数	6,614名

■大株主 (平成28年12月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
藤田観光株式会社	4,461千株	20.32%
DOWAホールディングス株式会社	1,501千株	6.83%
株式会社みずほ銀行	525千株	2.39%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	510千株	2.32%
三菱重工業株式会社	500千株	2.27%
JXホールディングス株式会社	500千株	2.27%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	370千株	1.68%
みずほ信託銀行株式会社	350千株	1.59%
内海造船株式会社	330千株	1.50%
サッポロビール株式会社	220千株	1.00%

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式 (47,891株) を控除して計算しております。

■役員 (平成29年3月23日現在)

代表取締役社長	山崎 潤一
専務取締役	石川 寛治
取締役	齊藤 昌哉
取締役	石渡 恒夫
取締役	伊勢 宣弘
取締役	仲 雅之
取締役	横田 清美
取締役	櫻井 薫
常勤監査役	鈴木 正
監査役	池田 雄二郎
監査役	宇田川 秀人

ホームページのご案内



<http://www.tokaikisen.co.jp/>

当社のホームページでは株主の皆様に対して、IR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っていますのでぜひご利用下さい。また、船の時刻、運賃、当社企画旅行情報、各島の情報を当社SNS等で公開しておりますので、合わせてご利用下さい。

■株主メモ

事業年度	毎年1月1日～12月31日
定時株主総会	3月
基準日	12月31日 その他必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告して定める日。
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 (公告掲載URL http://www.tokaikisen.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
その他ご不明な点は、株主名簿管理人0120-288-324 (フリーダイヤル) へお電話下さい。	

■株式に関するお知らせ

「特別口座」について

株券電子化に際して、株主様が証券会社等の口座を通じて証券保管振替機構 (ほふり) に預託されなかったご所有の当社株式は、みずほ信託銀行にて開設した特別口座 (※) にて管理されています。特別口座においては、株式を売買することができない (単元未満株式の買取を除く) など、株主様にご不便をおかけすることがあります。お手続きを円滑に行うためにも「特別口座」から「証券会社等の口座」へのお振替申請をお勧めいたします。(予め証券会社等での口座開設が必要です。)

振替手続の申請、お問合せは以下の「お問合せ先」にてご確認ください。

(※) 「特別口座」とは、株券電子化に伴い、証券会社等の口座を通じて証券保管振替機構 (ほふり) に預託されなかった株券について、株主様の権利を保全するため、当社がみずほ信託銀行に開設した口座です。

単元未満株式の買取について

当社では、証券市場で株式を売買できる取引単位を1,000株単位 (1単元) とさせていただいており、単元未満株式 (1~999株) は証券市場においては売買することができません。

そこで、株主様がご所有の単元未満株式を当社が買取らせていただく制度がございます。単元未満株式をご所有の株主様は、この制度のご利用をご検討いただきますようご案内いたします。

買取制度のお手続にあたっては、所定の手数料 (会社が定める買取手数料) が必要となります。

単元未満株式買取制度のご利用、お問合せは以下の「お問合せ先」にてご確認ください。

お問合せ先

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324

☆本ご案内 (ご説明) は、株式に関する諸手続についてご案内 (ご説明) するものです。特定の証券会社との取引勧誘や単元未満株式の買取請求の勧誘を目的とするものではありません。お振替、単元未満株式買取請求に関しては、株主様ご自身にてご判断いただきますようお願い申し上げます。

1月

1月27日下関にて新「おがさわら丸」の進水式が行われました。
11,000総トン型鋼製貨客船（第1194番船）で個室需要の増大に対応し、個室の増加・プライベート空間を重視した客室に。



1月

「セブンアイランド愛」が内装をリフレッシュ!!
消しゴムはんこ作家・津久井智子氏による、壮大な「愛の物語」が完成しました。



1~3月

13年ぶりに稲取～大島航路復活!!
椿まつり期に復活し、期間中に8,800人のお客様にご利用頂きました。



3月

3月27日長崎にて新「ははじま丸」の進水式が行われました。
ツインスケグ（船尾双胴）という特殊な船尾形状をしていることにより、在来船型よりも水の抵抗を減らすことができ、速力をより一層安定させる効果が期待できます。



4月

伊東港船客待合所が「ジオポート伊東」内にオープン!!
オープンを記念に伊東～大島日帰りツアーを実施しました。



4月

「さるびあ丸」にペトルームを新設!!
ペットと共に旅行が楽しめるよう、ペットも快適に過ごせる「さるびあ丸」になりました。



6月

あじさい鑑賞&海鮮爆弾丼ツアーを実施。
バス車内もあじさいで装飾し、お客様の目を楽しませました。
お昼の「海鮮爆弾丼」も大好評でした!



7月

7月1日に新「ははじま丸」就航!!
操作性の向上と離着岸作業の時間が短縮され、父島～母島間が片道2時間となりました。



7月

7月2日に新「おがさわら丸」就航!!
東京～父島間が24時間に短縮され、東京港の出港時刻を1時間遅くすることで、ほぼ全国から同日乗り継ぎでの小笠原旅行が可能となりました。



7~8月

星空観望バスが好評!!
夏の大島の星空を観測するバスツアーを実施、三原山頂口より見上げる満天の星空は絶景です。
バス車内装飾は星空をイメージしました。



10月

パワースポット三原山ハイキングが大盛況!!
現在も継続して、たくさんのお客様に三原山ハイキングを楽しんで頂いております。



11月

鱧甲鮓、一周年を記念してメニューをリニューアルいたしました!
「べっこう寿司」、「べっこう焼飯」はそのままですが、創作やさしい惣菜を、温かい野菜をイメージした「やさいポトフ」に置き換えました。



島ナビVOL.3
新島

面積 24km²
周囲 28km
東京竹芝より 163km



湯の浜露天温泉
新島の特産品コーガ石でできた古代ギリシャ建築風の湯の浜露天温泉と足湯。
24時間、年中無休、無料でいつでも新島の湯を楽しめる。



羽伏浦展望台
新東京百景に選ばれた景色。約7kmある白砂が美しい羽伏浦海岸が一望できる素敵スポット。



白ママ断崖
羽伏浦南端から7kmほど続く高さ30~250mの白い絶壁。千年以上昔の向山噴火で積もった火山灰層が海蝕で姿を現したという。白い断崖と青い海のコントラストは、自分が絵の中に迷い込んだと錯覚するほどの美しさ。

鼈甲鮓

メニューをリニューアル!

昨年、10月末にオープン1周年を迎え、メニューをリニューアル致しました。メインメニューとなる「べっこう寿司」、「べっこう焼飯」は従来そのままですが、創作やさい惣菜の中から人気の高いトマトの青のり天ぷらを残し、そのほかを温かい野菜をイメージした「やさいポトフ」に置き換えました。この「やさいポトフ」は8種類の豆から出汁を取り、そこに和風出汁と野菜出汁を合わせ、素材の味を引き立てるためにカレー風味をほのかに加えています。

メニュー例 べっこう寿司+やさいポトフ+プチトマトの天ぷら 1,000円
べっこう焼飯+やさいポトフ+プチトマトの天ぷら 1,000円
島島弁当® 700円

営業時間 平日11:30~15:30

お問い合わせは 東汽商事株式会社 TEL 03-3433-4820



東京湾クルーズ・レストランシップ

ヴァンテアン

TOKYO BAY CRUISE RESTAURANT SHIP VINGT ET UN

～特別な日は、海の上で～

東京湾クルージングと共に楽しみいただくのは、季節の食材を盛り込んだフレンチコース料理。厳選された食材を使用した船内調理によるシェフ自慢の味わいをお楽しみください。ヴァンテアンクルーズが海の上での最高の瞬間に、最高のお料理をお届けいたします。

各種クルーズ・プランのお問い合わせは 東京ヴァンテアンクルーズ株式会社 TEL 03-5472-4667

伊豆大島・三原山温泉源泉かけ流しの湯

大島温泉ホテル

～三原山を望む最高のロケーション～

雄大な三原山を望む源泉かけ流し温泉で、体も心もリラックス。

黒潮の恩恵を授かる伊豆の海はヘルシー新鮮素材の宝庫。

大島特産の椿油で新鮮な魚介類を揚げる名物「椿フォンデュ」、大島の近海で水揚げされる新鮮な金目鯛を使った「金目鯛のしゃぶしゃぶ」など、それぞれのプランで大島の海の幸をお楽しみいただけます。

各種ご宿泊・ご入浴のお問い合わせは 大島温泉ホテル TEL 04992-2-1673

